



世界の舞台で輝くために

関口清乃さん(17歳・佐間)

平成24年度、26年度の国民体育大会の女子ハンマー投げで、高校生チャンピオンを2人輩出している県立進修館高等学校陸上競技部。今月紹介する関口清乃さんは、今年4月に行われた第8回大川杯ハンマー投げ競技会で全国の並み居る強豪を抑え、51メートル44の自己記録を出して優勝するなど、現在急成長を遂げている注目の選手です。

関口さんは、中学生のときに陸上競技を始めました。当初は短距離の選手でしたが、2年生のときに腰を痛めたことから、種目を砲丸投げに変更。すると、その年の秋の県大会で6位入賞を果たし、投てき選手として一目置かれる存在となりました。しかし、3年生最後の県大会では予選敗退という結果に終わり、悔しさを抱えたまま中学校での競技生活に別れを告げたのです。

高校でも陸上競技を続けることを決意し、中学3年の夏休みに進修館高校の練習に参加した



関口さんは、そこで心躍らせる光景を目にしました。広いグラウンドに充実した設備、そしてハンマーを力強く投げる先輩の姿。その瞬間、同校に進学してハンマー投げに挑戦しようという意思を固めたそうです。

高校生になり、憧れの先輩と共に汗を流す生活がスタートしました。「先輩たちに追い付きたい」という思いで必死になってハンマーを投げ続け、練習では好記録を出すことも。しかし、試合になるとプレッシャーからか記録を残すことができず、毎回悔し涙を流していたそうです。関口さんは「入学してからずっと結果が出なくて、本当につらかったです。辞めたいと思ひ、練習を休んだこともありましたが」と当時の苦しい胸の内を明かします。ようやく本来の力を出せるようになったのは、今年に入ってから。「これまでは『記録を狙いたい、あの人に勝ちたい』と強く意識し過ぎていました。最近では、競技を楽しむ、結果は自ずと付いてくるのが分かったんです」と自ら好調の要因を分析します。

大川杯ハンマー投げ競技会に引き続き、県北学校総合体育大会でも大会新記録を出して優勝するなど、目覚ましい活躍を続ける関口さん。これからの目標を「秋に開催される国体の選手になって優勝したいです。そして、5年後の東京オリンピックで活躍できたいいな」とはにかみながら語ります。世界の舞台で輝くために、17歳の若きアスリートは進化し続けています。

私の作品

俳句

- 城西 鈴木 正夫
万葉の歌碑に蝶舞う屋下り
- 持田 小倉 繁三
蛇の目傘牡丹に添ひてひそと立つ
- 門井町 茂田 鳥山
おとこ手の揉みの優しき新茶かな
- 南河原 和泉 貫一
うたた寝を破る一事や春の雷
- 荒木 森田 静
八重桜無人駅にて待ち合わせ
- 谷郷 豊田 蓮里
孫の夢早く叶えと雛仕舞い
- 荒木 高澤よね子
六十年今もこの地に芋植える
- 南河原 今村 文女
八重椿華麗に落ちて地に咲けり
- 持田 二瓶 弘子
母の日やいつもの如く厨妻
- 桜町 吉岡 守子
アイリスはつるぎのような葉をのばし
- 城西 丸山 連子
物忘れ笑ひ合ひつつ新茶汲む
- 富士見町 森 節子
夕暮れの利根の河原に月見草
- 荒木 藤田 明枝
藍染の古き暖簾や夏の月
- 荒木 藤田 栄之
老鷲の近くに鳴きて落ちつかず
- 中里 鯨 美智子
紫陽花や一雨ごとに色冴える
- 長野 野中せき子
揺られきてバスの終点しばざくら
- 榎田町 春田 枕流
八重桜まさなる空おほひけり
- 向町 小沼 重蔵
孫の背が今朝は大きい初出勤
- 持田 伊藤 洋子
花吹雪集めて作る首飾り
- 持田 丸山 麟一
花吹雪でのひらと云う器あり

(三沢 一水 監修)

◎皆さんの作品を募集しています。俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

平成26年8月生まれのお子さんを募集します

○6月1日月～30日以内に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、7月2日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



はじめまして



★★★ 平成26年6月生まれのおともだち ★★★



高澤 涼鈴ちゃん(富里山町)
平成26年6月23日生まれ
父・美弘さん 母・夏芽さん
「生まれてきてくれてありがとう♡」



岸田 花芽ちゃん
平成26年6月30日生まれ
父・大輔さん 母・佳絵さん
「お兄ちゃんと元気に大きくなってね」



野崎 岳ちゃん(城南)
平成26年6月10日生まれ
父・剛さん 母・都さん
「元氣いっぱい! 夢は無敵大!」



牧口 航太ちゃん(藤原町)
平成26年6月10日生まれ
父・仁さん 母・理恵さん
「たくさん一緒に遊ぼうね!!」



新井 刻希ちゃん(持田)
平成26年6月15日生まれ
父・智史さん 母・希望さん
「刻希の幸せを願っています」



堀越 祐花ちゃん(埼玉)
平成26年6月13日生まれ
父・賢一さん 母・恵子さん
「祐ちゃんの笑顔でみんなが幸せ♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

オグラ宝石精機工業株式会社

120年の歴史を持つ宝石精密加工のスペシャリストが集結



会社プロフィール

代表取締役社長 小倉 教太郎
【事業内容】 宝石および金属の精密加工による工具や部品の製造・販売
【住所】 若小玉2468

明治27年に小倉玉細工所として創業し、120年以上の歴史を持つオグラ宝石精機工業株式会社。同社は、ダイヤモンド、サファイヤ、ルビーなどの宝石類を原材料とした工業製品メーカーです。現在は、昭和37年に建設した埼玉製作所(現埼玉工場)で約2千から2千500種類の製品の製造を行っています。

昭和55年から「お客さまが求める製品を必要ときに、必要なものが必要なだけ納める」という理念を社員に徹底するため、NPS(ニュープロダクションシステム)研究会に入会し、常に業務の改善を図っているとのこと。「いかにして『カイゼン』していくか、そのためにはどのような人材が必要か」といったことを、異業種の方たちと研究し、改善しているのがNPSです。ここで学んだことを仕事に生かせる人材(人材)を育成していくことが、効果的な生産につながるのです」と福澤さんは言葉に熱を込めます。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。